

様の思想の上の變化は、僅かに四五年の事ですが、非常なものであると存じます、大變に新しく現代的になられて、凡てに元氣よくきびんとして來られた様に深く感じます。(筆記)

大、二、文 大 瀧 晴

大正四年十二月廿一日印刷
大正四年十二月廿四日發行

(非賣品)

發行所 東京女子高等師範學校内
文科學術談話會

編輯兼發行人 千 葉 安 良
東京市赤坂區新坂町六十八番地八號

印刷者 畑 桂 之 助
東京市神田區旅籠町二丁目十二番地

印刷所 同 廣 業 館
前 同 廣 業 館
(電話下谷五五七番)

眞に高等師範學校に於て四十年の記念式を舉行せられました、その當時からこの學校の四十年記念祭はもう五年の後、今の一年生は幸福だこれから入學する人は羨しいと云ふ、會話はいつも、私共の間に繰り返されました。其の五年の年月は經つて今秋は愈々四十年の記念祭を迎へました嚴かな式や、盛大な祝賀會に列り陳列品觀覽の日の盛況を見。沿革に關する御高話を伺ふにつけてこの四十年間の著しき進歩發展の蹟を懐ひ長くも皇恩鴻大なること各時代の職員御盡力卒業生の援助に對して深く感謝いたしました、かくして職員全体は非常な刺戟を受け誰しも之を記念として一層の奮勵を期し覺悟をたしかにしたこと、存じます、私もまことに其の一人でございます。記念日の後數日九州のはてに在る舊師の許より「光榮ある學校に奉職してゐるあなたの幸福を思つてうれしさにたへない」とありました私は之を讀んで勿体なきを益々深く感じました。

◎東京女子師範學校學術談話會規程

- 第一條 本會ハ本校生徒ガ平素學修スル事項ヲ五ニ談話ノ智徳ノ増進ニ資スルヲ以テ目的トス
- 第二條 本會ヲ文科、理科、技藝科ノ三部ニ分テリ
- 第三條 本會ハ本校生徒ヲ以テ組織ス生徒ハ其學修スル分科ニ從ヒテ第二條ノ三部ノ一ニ屬スルモノトス
- 第四條 本校卒業生ハ本會ノ賛助員タルコトヲ得
- 第五條 本會ハ本校教官ヲ請フテ客員トナス
- 第六條 本會ニハ會長ヲ置ク。會長ニハ校長ヲ推戴ス
- 第七條 本會ノ各部ニ部長一名ヲ置ク。部長ハ各員中ニ就キテ會長之ヲ囑託ス
- 第八條 本會各部ニ幹事ヲ置ク。幹事ハ各部所屬ノ會員ヨリ各級若干名ヲ互選ス
- 第九條 部長ハ談話ノ事項方法等ヲ監督指導スルモノトス
- 第十條 幹事ハ部長ノ指揮ヲ受ケテ各部ノ事務ヲ取扱フモノトス
- 第十一條 部長及幹事ノ任期ハ各一箇年トス
- 第十二條 本會ハ毎年一回總會ヲ開ク
- 第十三條 本會各部ハ各部ニ於テ行ヘル談話研究等ノ報告ヲ印刷シテ配布スルコトアルベシ

- 第十四條 本會各部ノ内規ハ會長ノ承認ヲ經テ部長之ヲ定ム
- 第十五條 第六臨時教員養成所及ビ卒業生ハ本校生徒及ビ卒業生ニ準ス
- 第十六條 本規程ハ會長ノ承認ヲ經ルニアラザレハ變更スルコトヲ得ズ

◎東京女子高等師範學校學術談話會文科部内規

- 第一條 本會ハ學術談話會規定第一條ノ主旨ニヨリ文科生徒ヲ以テ之ヲ組織ス
- 第二條 理科技藝科第六臨時教員養成所生徒ニシテ本部ニ入ラント欲スル者ハ其旨幹事ニ申出ツベシ
- 第三條 本部ハ毎學期一回部會ヲ開クヲ例トス
- 第四條 部會開會ノ日時及次第ハ東京及近縣ノ賛助員及客員ニハ每會之ヲ通知ス
- 第五條 部會ノ講演者ハ會員、賛助員、客員中ニ就キ豫メ定メ置クモノトス。但臨時ニ講演セントスルモノアル時若シクハ他ヨリ講演者ヲ招聘セントスル時ハ部長ノ承諾ヲ經ベシ
- 第六條 本部ハ毎學期凡ソ一回會誌ヲ發行シ學術談話會規程第十三條ノ報告ヲナス
- 第七條 本部ニ左ノ役員ヲ置ク其任期ハ各一ケ年トシ毎年四月之ヲ改ム

- 評議員 若干名
編輯掛 四名(四年生二名三年生二名)
會計掛 四名(各學年一名ツ、)
庶務掛 四名(全ツ)
評議員ハ客員ニツキ本部之ヲ依頼ス
部長ハ客員又ハ賛助員ニ事務ノ一部ヲ依頼スルコトヲ得
- 第八條 評議員ハ本部ノ事務ヲ商議ス
- 第九條 編輯掛ハ左ノ事務ヲ行フ
一、會誌ノ編纂
二、會誌ノ編纂
- 第十條 會計掛ハ左ノ事務ヲ行フ
一、金錢及物品ノ保管及出納
二、會計帳簿ノ整理
三、毎年三月末日ニ於テ前一年金錢出納ノ明細書ヲ製シ之ヲ報告スルコト
- 第十一條 庶務掛ハ左ノ事務ヲ行フ
一、通信、記錄
二、會場ノ選定及整理
三、講演者ヲ定ムルコト
四、會誌ノ發送
- 第十二條 本部會費ハ當分會員ハ實費ヲ賛助員ハ年額七十錢ヲ毎年四月ニ於テ納ムルモノトス
- 第十三條 本部ニ受領セル會費ハ本部發行ノ會誌ニ於テ之ヲ報告ス
- 第十四條 會費ノ未納二箇年ニ及ブ者ハ會誌ノ發送ヲ見合スコトアルベシ
- 第十五條 退會セント欲スル者ハ其旨幹事ニ申出ツベシ